

生駒市文化財保護審議会会議録 要点筆記

- 1 開催日時 令和元年6月14日（金）午後6時～
- 2 開催場所 市役所402会議室
- 3 出席者 （委員） 今木会長 藤澤副会長 谷山委員 中谷委員
（事務局） 八重生涯学習部長 梅谷生涯学習課長
谷江生涯学習課主幹（生涯学習文化係長兼務）
吉川生涯学習文化係主査 川口生涯学習文化係主任
錦図書館南分館長（生駒ふるさとミュージアム）大西館長
- 4 会議の公開・非公開 公開 傍聴人 なし

5 議事

会長あいさつ

- (1) 平成30年度事業報告について
- (2) 令和元年度事業計画について
- (3) 鷹山家文書翻刻書籍発刊事業について
- (4) その他

6 審議内容

(1)平成30年度事業報告

事務局 （説明）

谷山委員 昨年度も申し上げたと思いますが、ふるさとミュージアムの来館者数は、昨年と比べてどういう傾向か。件数だけでなく比較されているのか。来館者5万人も達成されたようだが、去年の数値だけでなく、そういった比較資料もあわせてのせていただけるとありがたい。

事務局 来館者数は、開館以来概ね横ばいとなっており、平成30年度に関しては、少し減っている。ここ数年は、館外授業に力をいれており、

でかけるミュージアムということで、今後も外に飛び出すミュージアムを心がけていく。市役所の他部署ともコラボしながら連携も深め、来館者数を増やしていきたい。また、来館者数の前年度との比較資料も次回から準備しておく。

今木委員 館長も学芸員さんも次から次へとすぐに代わられてしまう。事業の継続性が損なわれているので、継続していただきたい。

事務局 事業の継続に支障をきたさないように、継続していきたいと思う。

中谷委員 館外授業をされているとのことだが、館内は難しいのか。

事務局 本当は館内に力をいれないといけないと思っているが、まだ傾向と対策が読みきれていない状況。小学校の見学は、平成30年度は全学校に来ていただいていたが、今年度は減っていきそうで、こちらから出向くことが増えていくと思われる。

館内事業の方ももっと増やさないとけないということで、平成30年度にワークショップを開催し、その際にでたみなさんの意見を取り入れたイベントを今年度、徐々に取り入れて開催していきたいと思っている。

谷山委員 ふるさとミュージアムは奥まっているので、ミュージアムに行きたい年配の方がものすごく困っておられる。車がない方は歩いていけないといけないので、セキュリティの問題もあると思うが高齢の方のために場所を移動してでも展示してもらいたい。保存の話もあるが、できる範囲で実施してもらいたい。

せっかく講演会をされているが聴講者が一桁台という回もあり、あまりにもったいない。場所を変える等工夫してってもらいたいと思う。その出向いた場所での講演会に参加した人も来館者と数えてもいいのではないのか。

事務局 館外展示も、できる範囲で検討していきたい。

(2)令和元年度事業計画について

事務局 (説明)

- 谷山委員 古文書調査について、小休止の状態である。6月にもうすぐ小瀬町の文書の調査に入ると聞いている。錦分館長が生涯学習課におられたときに報告書は、4巻まで出していただいているが、長い間空いており、かなり溜まっている状態で、報告はいつでも出せる状態である。今年度に出版することは可能かどうか、予算的にはどうか。今年が無理なら予算要求をしていただけるのか。
- 事務局 次年度予算要求してみる。
編集はどれを対象にまとめるかは先生と協議をさせていただいて、決めていきたいと思う。
- 谷山委員 中・南地区で1冊ずつ出せそう。予算の関係もあると思うが、また考えていっていただけたらと思う。
- 中谷委員 萩の台文化財保存庫について 民具など道具類や古文書が入っている。何年かかるかわからないが整理していく予定。何年計画になるか未定だが、写真も50枚ほどある。台帳を作っていく予定。民具に詳しい学芸員の方はいらっしゃるのか。前学芸員の方が民具に詳しくだったので残念。民具を使ったイベントを考えたいとおっしゃっていたが、どうされるのか。
- 事務局 後任の学芸員がおりますので、考えていきたいと思う。
- 中谷委員 錦分館長にいただいた台帳を元に、整理していつている。台帳を作っていくかと思っているので、また市の方にお力添えいただきたい。
- 事務局 こちらでできることがあればさせていただきたいと思う。
こちらで対応できることはありますか。
- 谷山委員 ミュージアムでも民具の修復をされていると聞いた。
- 事務局 ミュージアムにない民具があれば、ミュージアムで保存していただくことも可能です。また、担当の学芸員と一緒に一度伺いたいと思う。
- 中谷委員 製本の時にお助けいただきたい。

(3)鷹山家文書翻刻書籍発刊事業について

- 事務局 この事業は、去年より取り組んでおり、奈良市にある興福院こうぶくいんに保存されている古文書である。県教委の方でずいぶん昔に調査をされて写真撮影をされ、奈良県文化財に指定をされている。
- その内容については難しく専門的な知識が必要ということで、中身の分析・検討がなされてこなかったので、生駒市北部地域と関連する、歴史的な関連のある家の古文書で、翻刻作業をしていこうということになり、昨年度ぐらいから翻刻作業をしていただいている。
- 現在、ほとんど翻刻作業は終わっている。その内容をふまえての概説、あるいは論文、考察文をこれから進めていただく予定。
- 地域の概要としまして、高山地域の地域概要、今木先生には、高山八幡宮の祭礼につきまして、無足人座や宮座の行事につきましても、一文をいただきたい。チーフをしていただけることになった天野先生ほか、5名の先生方におかれましては、近世戦国期の大和の国人について、河内の守護である畠山氏の関係まで鷹山氏と関連の深かった氏族の考察などを予定している。他に、高山城跡の考察もしていただくということで進めている。
- その他の先生は未定。
- 他に、鷹山家の墓所が高山竹林園の中あり、写真撮影と拓本の採扱を藤澤先生に先日お願いし、ご快諾いただき、スケジュール調整中である。
- 高山竹林園の中の、鷹山家の墓塔も順列がおかしいので、うまく検討できたらと思っている。そのあたりも踏み込んで先生方をお願いしたい。
- 藤澤先生には平成の始めぐらいに石造遺物調査でご確認いただいております、今回はターゲットを絞ってお願いしたい。
- 今木委員 天野先生他の5名の先生方のご紹介をお願いしたい。
- 事務局 天理大学の天野忠幸先生にチーフとしてお願いし、京都橘女子大学の野田泰三先生、八尾市立歴史民族資料館館長の小谷先生、大谷大学の馬部先生、近畿大学の新谷和之先生、愛知県知立市（ちりゅうし）教育委員会の中川貴皓先生にご参加をお願いしている。
- テーマについては、役割分担をお願いしておりますが、まだはっきりと決まっておらず出そろっておりません。
- 一部はでてきておまして、馬部先生には、国境の大和国人。小谷先生には鷹山家文書に見える河内の守護畠山氏、というテーマで考察いただくことで進めている。

- 谷山委員 鷹山家の翻刻書発刊の経緯については内容が少しずつわかり、興味深く聞いておったのですが、こういう内容がわかった時に市民の皆さんに期待してもらえるよう広報などで掲載して、周知していただきたい。
- 事務局 入稿が今年の年末ぐらいにと思っており、広報で周知することはできる。報告書で500部2000円程度の価格を予定。A3両面程度の概要版を1000部ぐらい無料でお配りできるような形で作成予定。
- 藤澤委員 いろんなものをバラバラで出すのではなく、一連のものとして最後にまとめられるような同じ形式のものでだしていただきたい。市の中で通し番号をつける等がいいのでは。
- 今木委員 県のもは通し番号がついているので、それと同じようにすればいいのでは。
- 事務局 ご提案のとおり、通し番号をつけることは可能なので検討していく。
- 中谷委員 高山の知り合いが高山八幡宮について広めないと思っておられる方が多い、やはり市内全域に高山の話がわかるように広報等で広めていただきたい。

(4)その他について

市の指定文化財について

- 事務局 昨年度文化財保護審議会にて「生駒市内の重要美術品等認定物件はどのようなものがあるのか」とご質問があったと記憶している。
添付資料のとおりである。
生駒市指定文化財の方向性で考えていくと、今未指定のもので指定できるものは、宝山寺で未指定の2件と長福寺料田目録などになるかと思う。長福寺料田目録については、本堂の建立何代を検討する時に重要な資料になる。今すぐに指定はないと思うが、いずれ重要文化財の長福寺本堂の附指定となると思われる。市指定するのは難しいと考える。
- 今木委員 他に生駒市として市の文化財とする指定候補はないか。

- 事務局 改めて今までの悉皆調査や仏像の調査などを再度リストアップして再度提示させていただきたい。
- 今木委員 竹林寺の結界石などはどうか。境内に埋もれている。
- 事務局 かなり可能性は高いと思う。まだ見つかっていない物もある。
- 藤澤委員 かなり大規模な調査になるし、見つからないだろう。
文化財については、何がということも大切だが、どこにあったか場所を確認することが大切。調査などをした際は、もとにあった場所に代替品を置いておく等、もとに戻しておくことが大切。
- 今木委員 昭和40年代に水路の修復工事をしていた際に、ひっくり返したら字が書いてあると大騒ぎになったことがある。それは、今でも知っていられしゃる方がここで見つけたんだと教えてくださる。大界外相は、あった場所を現地に連れて行ってくれた。多少の誤差はあるかもしれない。
- 谷山委員 資料8の指定文化財の一覧をみていると、市の指定が、いつときもう少しあったが、絵画や彫刻が全く欠落している状態で、先ほど新しく出していた候補のリストを見ても、そのあたりは欠落しているように思われる。以前仏像調査をされましたよね。県レベルの指定のものと市で指定できるレベルのものと違いがあると思うので検討していただきたい。
- 事務局 以前仏像を調査した際に、優品解説でカラーのグラビアで掲載しているものがありまして、中に未指定の南田原の地獄極楽絵図や重要美術品の弥勒菩薩坐像については、優品として報告しておりますので、今後指定できる可能性があると考えます。
- 今木委員 祭礼行事の中で、市が調査した際に鹿畑のお祭りを復活させようということになったと思うが、指定になるということが、1つの励みとなり、継続していこうという励みになると思うのでそれをベシクとしていきたい。
- 今木委員 学芸員について、生駒市に精通した学芸員は1年2年で育つものではない。継続していただきたいが、今後の採用についてはどうか。

事務局 現在、来年度の採用に向けて、実績のある学芸員の採用をする予定で進めている。よい人材を確保できるようにしたいと思う。

今木委員 資格のある学芸員が継続できるようにしていただきたい。いつ頃から募集しているのか。

事務局 今年の3月に募集をかけた。久しぶりの採用になる。

谷山委員 錦分館長が生涯学習課から出られてから、部長も課長も比較的短期間に代わられることが多く、継続できる人材を確保してほしい。